



2011年3月22日

各 位

会 社 名 イオンクレジットサービス株式会社
代表者名 代表取締役社長 神谷 和秀
(コード番号 8570 東証第一部)
問 合 せ 先 常務取締役財務経理本部長 若林 秀樹
電 話 番 号 0 3 - 5 2 8 1 - 2 0 5 7

「東北地方太平洋沖地震」による影響について

2011年3月11日に発生いたしました「東北地方太平洋沖地震」において被災された皆さまに、哀悼の意と心からのお見舞いを申し上げます。

この地震による当社への影響について、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 状況等について

イオングループでは、全国に展開する自社物流網ならびに独自の商品調達ルートを活用し、救援物資を始めとする生活必需品を優先的に被災地域へ輸送する体制を構築しております。この度の東北地方太平洋沖地震では、被災地域を優先しつつ、全国のお客さまの生活のためのインフラとしての役割を果たすべく取り組んでおります。

当社が東北及び北関東地区で展開するインストアブランチにつきましては、当初被害を受けた店舗も復旧に努め、現在、仮設店舗2店舗も含め全店舗で営業を実施、また、株式会社イオン銀行と共同で運営を行っているATMにつきましても、対象地区213台の内、200台で利用可能となっております。なお、北日本コールセンター（仙台市泉区）に入電するお客さまからのお問合せにつきましては、大阪及び、中部コールセンターにシステムの的に転送し、滞りなく対応いたしております。

2. 節電への取り組みについて

全国の事業所、事務センター、インストアブランチにおいて、3月13日（日）より電力使用を抑制するため、施設の安全及び営業上不要なものは全て節電しております。

また、東北・関東エリアで実施されている計画停電対応については、計画停電が実施されるまでは、原則各事業所、インストアブランチ、ATMとも営業を継続いたします。実際に、計画停電が実施される場合は、一時的に営業を休止いたします。

3. 業績への影響について

この地震による業績への影響については現在調査を進めております。開示すべき内容が見込まれる場合には速やかにお知らせいたします。

以 上